



企業現場見学会 2025 開催報告

産学交流委員会人材交流小委員会

はじめに

産学交流委員会人材交流小委員会では、化学分野を志す学生に向けて、企業の研究所や工場を訪問し、現場を体感できる「企業現場見学会」を毎年実施しています。本稿では 2025 年の実績を報告します。

「企業現場見学会」の対象と特徴

化学産業の現場である工場や研究所を訪問し、そこで働く企業の方々と直接交流できる機会は、研究者や技術者を志す学生にとって、進学や就職を考える上で極めて重要な判断材料となります。また、企業にとっても、自社の特徴や魅力、研究活動の実際を、単なるイメージではなく五感を通じて学生に伝えられる場は非常に有意義です。こうした双方にとって価値ある機会を提供するため、本小委員会では「企業現場見学会」を企画・実施しています。化学産業の最前線を体感し、企業の研究者と直接交流できる——そんな貴重な機会が「企業現場見学会」です。学生にとっては進路選択のヒントとなり、企業にとっては自社の魅力を伝える絶好の場となります。

今年度のラインナップ

2025 年度は、9 月から 11 月にかけて全国 8 カ所で見学会を開催し、延べ約 130 名の学生が参加しました。アンケートでは「満足」、「大満足」の回答が大半を占め、「後輩や同級生にも勧めたい」という声が多く寄せられました。

以下、各社での見学会の様子を紹介

します。

〈株式会社クラレ つくば研究センター〉

日程：9 月 1 日(月)13:30～16:30
会場：クラレ つくば研究センター（茨城県つくば市）

株式会社クラレ つくば研究センターでは、ポリマー開発、成形・加工を中心とした研究開発を行うとともに事業部の開発部も在籍して開発を行っています。まず、クラレの全体概要およびつくば研究センター設立の目的・ミッション、研究概要についての説明を聴講しました。事業環境や研究開発の状況について、活発な質問が交わされました。研究センター見学では、分析・解析機器や成形・加工設備を中心に見学をするとともに、研究員の日常業務に理解を深め、つくば研究センターの研究環境を体感することができました。最後に、4 グループに分かれて実施した研究員との座談会においては、研究開発の難しさや製品化に至るまでのプロセスに関する話聞き、企業の研究職として働くことに対するイメージを深めました。

学生からは、「各部屋をまわった際に、その部屋の社員の方に詳しい業務内容などを説明していただいたことが印象に残っています。実際に機器を見てその業務に携わっている方の説明を聞くことで、自分が業務に携わる想像がしやすかったで



す」といったコメントが寄せられました。

〈花王株式会社〉

日程：9 月 17 日(水)13:00～16:00
会場：和歌山工場内・花王エコラボミュージアム（和歌山県和歌山市）

花王株式会社では、和歌山工場・花王エコラボミュージアムにて見学会が開催されました。まず会社概況と和歌山事業場の説明を受け、その後ミュージアム内の展示や映像を通じて地球環境の現状や花王のエコ技術に関する取り組みを学びました。ミュージアムおよび研究所見学に続き、衣料用・住居用洗剤などの製造ラインも見学しました。見学後の講演会では、花王の研究開発部門から和歌山事業場内の研究所や企業における研究開発の進め方について説明があり、活発な質疑応答を通じて企業での研究や業務への理解を深めました。参加者は熱心に聞き入り、研究開発の重要性を実感しながら見学を終えました。

学生からは、「研究所の様子を見られたことが印象に残った。将来は研究開発部門での就職を希望しているため、働き方のイメージがしやすくなった」といったコメントが寄せられました。



〈AGC 株式会社〉

日程：9 月 24 日(水)13:00～17:30
会場：AGC 横浜テクニカルセンター(YTC)（神奈川県横浜市）

AGC 株式会社の現場見学会では、参

加者がAGC横浜テクニカルセンター(YTC)を訪問しました。YTCはAGCの国内唯一の研究拠点となっており、社外の人と新しい価値を協創する「協創空間AO」を有するのが特徴の1つです。当日は、「AO Park」でAGCの創業から現在に至る歴史を学ぶだけでなく、「AO Studio」や「AO Lab」見学を通じてAGCの最新技術・製品を直接体感し、素材の可能性に触れる機会を得ました。また、ガラス製造ラインの見学では、普段なかなか見ることができないガラスの溶解窯や高温でガラスが成形される様子を体験し、モノづくり現場への解像度を高めました。さらに、若手研究員との座談会では4名の研究員に対し、学生から数多くの質問が投げ掛けられ、予定時間を超えた活発な議論がなされるグループも多くありました。

学生からは、「ガラス製造現場を上流から下流まで一連の流れで見学できた点も印象的でした。規模の大きさに圧倒されるとともに、普段目にするガラスがどのように生み出されるのかを知ることができ、とても興味深かったです」といったコメントが寄せられました。



〈三菱ケミカル株式会社〉

日程：9月30日(火)13:30~16:30
会場：Science & Innovation Center (神奈川県横浜市)

三菱ケミカル株式会社の現場見学会で

は、参加者がScience & Innovation Centerを訪問し、三菱ケミカルの研究開発の場を見学しました。

まず、全体で会社および研究開発組織についての紹介を聴講しました。その後、実際に研究員が普段使用しているラボ、デスクワークもできる図書エリア併設のカフェ、技術の展示が行われているKAITEKI Palette等を見学しました。

KAITEKI Paletteはイノベーションを創出するきっかけの場となるよう、単なる展示場ではなく、双方向的なコミュニケーションの場としてデザインされた空間です。参加者は、シアター視聴に加え、実際の展示に触れ、社員との対話を通して三菱ケミカルの様々な技術を体感しました。

見学会の後は、多様なバックグラウンドを持つ7名の若手研究員との座談会が実施されました。座談会では、研究員による簡単な業務紹介の後、小グループに分かれた参加者は複数の社員と順に懇親しました。会場はリラックスした雰囲気の中、大いに盛り上がり、研究所の雰囲気や普段の研究活動などについて理解を深めました。

学生からは、「様々な専門職で働く社員さんとの座談会がとても印象的でした。大学での研究分野とは違う仕事内容になったとしても、どのような働きがいがあるかを知ることができてよかったです」といったコメントが寄せられました。



〈株式会社島津製作所〉

日程：10月10日(金)13:00~17:30
会場：Shimadzu Tokyo Innovation Plaza (神奈川県川崎市)

株式会社島津製作所の見学会は、ライフサイエンス・環境分野の新産業を創出する殿町国際戦略拠点キングスカイフロント内、Shimadzu Tokyo Innovation Plazaにて開催されました。

まず、会社紹介として150周年プレゼンの紹介、人事部による説明、殿町の紹介、ラボツアーが行われました。

その後の研究員との座談会では、SCOE入社3年目、4年目、5年目3名による仕事の紹介と、意見交換が実施されました。化学を学ぶ学生が多く、研究に対する取り組み、働き方など活発な質疑が行われました。

学生からは、「実際に各フロアの実験室を見学させていただき、最新の精密測定機器を間近で見ることができ、とても興味深かった」といったコメントが寄せられました。



〈株式会社クラレ くらしき研究センター〉

日程：10月27日(月)13:30~16:45
会場：クラレ くらしき研究センター (岡山県倉敷市)

株式会社クラレ くらしき研究センターは、有機・高分子・無機合成、触媒、炭素材技術や分析技術などを基盤とした先端的・独創的な製品の研究開発および

クラレグループ全体の分析・解析拠点として、技術課題の本質的解決に向けたグローバルな取り組みを実施しています。

参加者は、まずクラレの全体概要および研究センター設立の目的・ミッション、研究概要についての説明を聴講しました。その後、センター内の分析・解析機器を中心に見学し、研究員の日常業務を観察することで、センターの研究環境を体感しました。さらに、グループに分かれて実施した座談会では、若手研究員との対話を通じて、一日の仕事内容や困難な研究開発業務の中に感じる仕事のやりがいや楽しさを知り、企業の研究職として働くことに対するイメージを深めました。

学生からは、「本格的な設備の規模に圧倒され、この会社で将来研究や開発の仕事をしてみたいという気持ちがより一層強くなりました」といったコメントが寄せられました。



〈株式会社日本触媒〉

日程：11月7日(金)13:30～16:50

会場：吹田地区研究所（大阪府吹田市）

株式会社日本触媒の現場見学会では、主要な研究開発拠点の1つである吹田地区研究所を訪問しました。はじめに会社概要およびR&Dの取り組みについて説明を受けました。その後、研究所見学として、安全に製造プロセスを組むためのデータ取得を専門に検討するラボ設備、

ラボとベンチスケールの間を担う実験棟であるPIC棟(Process Incubation Center)、有機・無機分析や物性評価・形態観察等の分析装置を保有している評価解析センター、高純度材料検討のための実験・評価設備のクリーンルーム棟を見学し、コア技術をベースに事業へと展開する研究開発の現場を体感しました。若手研究員と座談会では、4名の社員による、自身の業務履歴や自社に関するイメージの説明を受けた後に、グループに分かれ、参加者からの質疑応答を行いました。1日の業務の流れや会社の雰囲気について等、細かな疑問点についても質問をすることで、企業における研究活動について理解を深めることができました。

参加した学生からは、「企業の研究所、大学では見られないスケールアップのプラントを見学できたことが印象に残った」といったコメントが寄せられました。



〈綜研化学株式会社〉

日程：11月26日(水)13:30～17:00

会場：狭山事業所（埼玉県狭山市）

綜研化学株式会社では、国内唯一の研究開発拠点である狭山事業所を見学しました。綜研化学の会社概況や技術力の強みをはじめ、狭山事業所の役割や技術者の具体的な業務内容の説明を受けました。研究開発が行われている研究棟の見学ではサンプル品を実際に手に取りながら、

技術者から製品用途や機能と併せて、身近に使われていることを体感しました。また、実験室や生産工場で技術者が実際に働いている姿を見学し、様々な装置や設備についてと研究開発品からスケールアップする際の難しさや技術力がどのように反映されているかの知見を得ました。現場見学後の、若手社員・中堅社員・管理職社員を交えた座談会では、社内の雰囲気や働きやすさ、大学での学びとの関連性や、技術者の日々の業務などについて活発な質疑応答がなされ、化学メーカーで技術者として実際に働くイメージを深めました。

学生からは、「今回の事業所見学を通じて、会社の魅力をより深く知ることができただけでなく、実際に事業所内を見学したこと、業務内容や職場環境を具体的にイメージすることができ、理解が一層深まりました」といったコメントが寄せられました。



おわりに

2026年度についても会員各社様からの企業現場見学会の提案をお待ちしております。また企画内容の提案や改善など、本企画へのご要望もお願いします。

E-mail: sangaku@chemistry.or.jp

〔産学交流委員会人材交流小委員会委員長
高村岳樹（神奈川工科大学）〕

© 2026 The Chemical Society of Japan